

アジアにおける河川再生のためのネットワーク構築と活用に関する研究

—「小さな自然再生」の普及促進—

Study on Building and Utilizing Network for the River Restoration in Asia -Promotion for Collaborative Nature Restoration-

水循環・水環境グループ 研究員 後藤 勝洋
 技術参与 土屋 信行
 水循環・水環境グループ 研究員 和田 彰
 まちづくり・防災グループ 研究員 阿部 充
 まちづくり・防災グループ 研究員 佐治 史
 自然環境グループ 研究員 澤田みつ子

1. はじめに

「日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)」は、2006年11月の設立以降、河川・流域再生に関する情報を交換・共有することを通じ、会員間のコミュニティを拡げながら、各地域に相応しい河川・流域再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的として種々の活動を展開している。また、国際的な河川再生に関する知識・技術情報の交換と人材交流を目的に設立された「アジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)」の日本窓口を担い、中国・韓国等のアジア各国との協働・連携を進めている。

本稿では、当研究所と(株)建設技術研究所国土文化研究所が共同で運営したJRRN事務局の2018年度の活動概要を報告する。

2. 2018年度のJRRN活動内容

2-1 2018年度の活動概要

2018年度にJRRNが取り組んだ主な活動概要を表1に示す。以下では、特に重点的に取り組んだ活動である“水辺でできる「小さな自然再生」による川づくり人材育成”について、その概要を報告する。

2-2 「小さな自然再生」による川づくり人材育成

広域的な自然環境の保全・再生に寄与する草の根レベルの取組みとして、市民が河川管理者と連携し日曜大工的に自然再生活動を行う「小さな自然再生」(定義:①自己調達できる資金規模であること、②多様な主体による参画と協働が可能であること、③修復と撤去が容易であること)が注目されている。2018年度は、「小さな自然再生」の普及促進活動の5年(2014年度より開始)の節目として、これまでの取組みをレビューするとともに、今後の活動をより飛躍させるため、「小さな自然再生」サミットの開催やデータベース制作などの新たな取組みを企画、実施した。

表-1 2018年度の主な活動概要

テーマ	活動概要
河川再生に関わる情報共有基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> ・JRRN ニュースレター発行(毎月・12回) ・JRRN ニュースメール発行(毎週・51回) ・JRRN/ARRN ウェブサイト運営(284件) ・JRRN-facebook 運営(249件) ・「小さな自然再生」ホームページ・facebook 運営 ・「小さな自然再生」事例データベース構築(河川基金助成事業)
河川再生の普及・啓発に向けた行事等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「桜のある水辺風景2018」写真募集 ・「第15回水辺・流域再生にかかわる国際フォーラム」開催(東京) ・応用生態工学会 自由集会「小さな自然再生が中小河川を救う! V」開催協力 ・「小さな自然再生サミット2019神戸大会」開催(河川基金助成事業) ・「講習会~iRICで学ぶ川の流れ(初級)」開催
河川再生に関わる調査研究	<ul style="list-style-type: none"> ・水辺でできる「小さな自然再生」による川づくり人材育成(河川基金助成事業)
河川再生に関する冊子等の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・「桜のある水辺風景2018写真集」発行 ・「自由集会『小さな自然再生が中小河川を救う! VI リターンズ』」開催報告(概要)発行 ・「小さな自然再生サミット2019神戸大会 開催報告」発行
河川再生の推進に向けた国内外団体への支援や協働	<ul style="list-style-type: none"> 【国内活動】 ・水の巡回展ネットワーク(jawonet)運営協力 ・「隅田川クリーン大作戦」企画運営協力 ・秋田県「多自然川づくり現地研修会」企画運営協力 【海外活動】 ・「第13回ARRN運営会議」企画運営 ・海外視察団受け入れ支援(台湾、香港) ・中国水利水電科学研究院60周年国際行事参加(北京)

(1) 「小さな自然再生」サミットの開催(写真-1)

全国の「小さな自然再生」の担い手が集い、全国の取組みを共有し、今後の更なる推進に向けた議論を行う「小さな自然再生サミット2019神戸大会」を2019年1月26日(土)、27日(日)に神戸市内(デザイン・クリエイティブセンター神戸、住吉川現地)で開催した。当日は、約170名の参加者が集まり、JRRNの顧問である玉井信行名誉教授による開会挨拶、九州大学の島谷幸宏先生による基調講演「これまでの多自然川づくりの取組と小さな自然再生」をいただいた後、全国

15 地域の先進的事例発表（写真－2）、会場参加者との意見交換を行い、「小さな自然再生」の技術や関係者との関わり方、今後の方向性について議論を深めた。

翌日は、神戸市内を流れる住吉川の「水辺の小わざ魚道」を地元の関係者（豊かな森川海を育てる会、兵庫県）から説明をいただきながら視察し、「小さな自然再生」の取組みの経緯、ノウハウを現地でも共有した。



写真－1 「小さな自然再生」サミットの開催状況

<http://jp.a-rr.net/jp/activity/public/610>

(2) 「小さな自然再生」事例データベースの構築

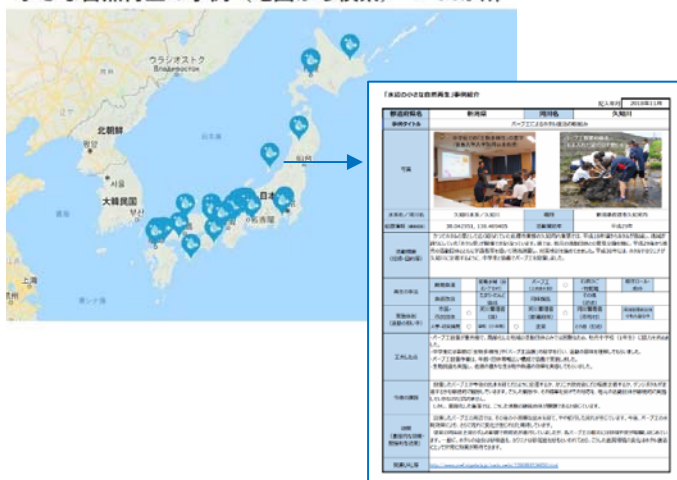
全国の「小さな自然再生」の事例を地図から検索できるデータベースを制作・公開した（図－1）。本データベースに掲載している情報は、それぞれの取組みに携わる当事者に作成していただいた生の情報であり、地図を参考に現地に訪れて取組みを知ってもらうことを目的とするとともに、より詳細な情報を知りたい場合は、関連 URL から更なる情報源、連絡先につなぐ役割を果たすものである（事例情報は継続的に募集・更

新中）。

3. おわりに

本活動は（公財）河川財団の河川基金の助成を受け実施している。本活動を継続的に進めてきた結果、河川財団より「河川基金優秀成果表彰」を3年連続（2016～2018年度）でいただくなど、対外的にも認知・評価されるようになってきた。本活動への全面的な協力・指導をいただいている「小さな自然再生」研究会のメンバーや、各地で実施した研修会等のご協力をいただいた皆様、事例情報の提供をいただいた皆様に感謝を申し上げます。

小さな自然再生の事例（地図から検索）：34か所



図－1 「小さな自然再生」事例データベース

<http://www.collabo-river.jp/>



写真－2 「小さな自然再生」サミットで発表された全国事例（事例データベースに掲載）